

# 構成力

森 井 千 代

「先生が之から此の紙の上に、此の木で何か作りますから、よく見て、あなたも其の通り作つて下さる？」

先づこゝう云ふ言葉をかけて置いて、約十秒位で長さ六糎の細木でカギ形に枠を作り直ちにこわして子供に作らせる。之が自分の取扱つた問題であるが、大體査定には次の諸點に目標を置いたので、之に従つて述べて行く。

(1) 構成に要した時間。普通の子供で二十秒——三十秒。早いので十二秒。四十秒もかゝるのはいくら延長しても、殆んごの場合出来ない、概して注意散漫で構成に要す時間より他所見の時間が多いのさへ見受けられた。

(2) 構成せる物ミ紙ミの關係(位置)。之はさうも子供には難しいらしく紙からはみ出して始めて氣著き横に移動するのが多く最初から計畫して置くのは極少かつた。

(3) 構成せる物の正否(換言すれば出来たか出来ぬか)確、不確。出来ない子供は約五分の一であつたが此の外にカギ形を反對に作つたものがかなりあり、正しく出来た子供は五分の三にすぎぬ、方向反對に作る子供なきは、實にあいまいなもので「之れでいゝの？ちがつてる？いない？」と尋ねるまべしやんこになつてしまふ、しつかりして居る子供になるこ明瞭に「ちがつて居ない」と答ふ、何の子供にもこんな自信があつて欲しい。

(4) 態度。最初の言葉をかけた時「えゝ」と笑みを浮べて頷つくのもかなりあるが、未だ、社會性がないと云はうか氣が小さいと云はうか、怖えた小鳥の様にだまつてじろく見る子供が多い、こゝう云ふのに限つて一寸まごつくま直ぐにめそ

めそ泣き出してしまふ、是等は餘程母さんの責任のある處で、おそらく温室育てにした結果であらう、もつゝ明るくのびのびとあり度いものである。悲しいかな自分は過去に検査の経験も幼児教育の経験もなく、比較對照するものがないので、之位に止む。

## 四肢の運動検査

齋 藤 興 助

本年四月入學せしむべき兒童の檢定を行つたので、其の感想を書くやうにこの御話であるから私の感じたまゝを述べさせて頂く事にする。

入學兒童に對する素質の検査は最近多くの小學校で行ふて居る。これは學級編成を行ふ材料にする場合が多いのであるが、當附屬小學校で行ふ檢定は、それとも多少趣きを異にして居る。即ち精神活動及び筋肉活動が學齡兒童として完全に發育して居るか否か、又、義務教育の研究兒童として適して居るか否か、將又お茶の水プランを實施して行く兒童として適して居るか否か等々である。これ等の點に就いて、幾人かの試験官が各々分擔された部分々々から見て行くのであるから、必ずしもこりこりな兒童のみを採用し、合格せしむるものではない。然も分擔された各部分からなめるのであるから檢定委員の目に映するものも、それ々々違ふと思ふ。私の擔當したフイジカルテストに就いて述べるならば大體、五つの見方から論じて行きたい。

其の一は、外見上、身體各部が均齊の發育をまけて居るか否かと言ふ點で、これは兩親及び其のいづれかに缺陷がある